

【会 議 録】（概要）

実施日時：令和7年11月17日（月）9:30 から 11:00 まで

会議名	令和7年度第3回越谷市 男女共同参画推進委員会	実施場所	エントランス棟3階会議室 3-2、3-3
件名/議題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 協議事項 （1）第4次越谷市男女共同参画計画の改定について ① パブリックコメントの結果について ② 第4次越谷市男女共同参画計画（改定案）について（第2回 からの修正点について） （2）答申案について 報告事項 （1）第4次越谷市男女共同参画計画後期実施計画（素案）について 4 その他 5 閉 会		
出席者等	【出席委員】 関井委員、森委員、山田委員、松田委員、小泉委員、金委員、 斎藤委員、佐藤委員、内藤委員、市川委員、櫻井委員 【事務局】 小林課長、成田副課長、瀧口主査、土方所長		
会議資料	【資料1】パブリックコメントの結果について（概要） 【資料2-1】第4次越谷市男女共同参画計画（改定案） 【資料2-2】パブコメ実施後の主な修正点 【参考資料】第4次越谷市男女共同参画計画後期実施計画（素案） 【参考資料】前期実施計画から後期実施計画への主な変更点		
内容	本会議録（要旨）のとおり		

【会 議 録】（要旨）

1 開会

人権・男女共同参画推進課長の司会により令和7年度第3回越谷市男女共同参画推進委員会の開式。

2 会長あいさつ

関井会長よりあいさつ。

3 議事

<協議事項>

（1）第4次越谷市男女共同参画計画の改定について

- ① パブリックコメントの結果について
- ② 第4次越谷市男女共同参画計画（改定案）について（第2回からの修正点について）

【事務局からの説明】

- ・ 9月1日から9月30日で実施したパブリックコメントについて、寄せられた意見は8通、意見数は21件であった。
- ・ 「暴力の対象を、配偶者や恋人だけに限定せず、性暴力や第三者からの暴力行為も含めるべき」という意見について、国においても「ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない社会基盤づくり」といった表現にしているため、本計画においてもこれに合わせた表現に変更している。
- ・ このほか、個別の施策に対する意見については所管課へ共有する。

【質疑応答】

- ・ 計画改定案の16ページに「性的同意」について若年層も含めた啓発とあるが、若年層はメディアなどを通じて意識も上がっていると思う。反面、子ども・若者等を性的に搾取するような人に対しての啓発も必要であると考えため、「あらゆる世代に向けて」と変えた方がよいと思う。

⇒売春やDVなど、加害者側への施策が必要とされていることは十分に承知している。
ご意見のとおり、「あらゆる世代に」というような表現を検討する。

- ・計画改定案 7、10 ページに「男は仕事、女は家庭に賛成か」、「仕事をしていくうえで男女の能力差があるか」といったグラフがあるが、30 代が高くなっている。これは越谷だけの特徴なのか。6 ページの今後の課題に 30 代については対策などが書かれていないが、今まで議論などされてきたか。

⇒30 代というのが、ちょうど子育て世代にあたり、仕事と家庭（育児）の両立に困難を抱えている方が多いのではないかと推測している。これについて、子（4 才、小 3、中 1）を持つ保護者に向けたリーフレットの配布やほんと越谷で実施している役割分担意識の解消に関する講座、事業者向けのワークライフバランスに関するリーフレットなどで啓発できればと思っている。子のいない方への啓発は今後の課題として認識している。

- ・「男は仕事、女は家庭に賛成か」で 30 代が高くなっているとあるが、件数としての差はどれほどか。

⇒令和 5 年度市政世論調査の結果、賛成またはどちらかと言えば賛成の件数としては以下のとおりとなる。

女性 1425 人（18～29 歳：124 件中 12 件、30 代：164 件中 25 件、40 代：210 件中 23 件、50 代：267 件中 32 件、60 代：211 件中 21 件、70 歳以上：442 件中 67 件）
男性 1051 人（18～29 歳：80 件中 11 件、30 代：104 件中 21 件、40 代：171 件中 32 件、50 代：183 件中 35 件、60 代：185 件中 41 件、70 歳以上：326 件中 81 件）

- ・妻から夫に対する暴力について、女性特有の子育てノイローゼから来ているということがある。女性特有の理由があるということを含められればと思う。

⇒どのような理由があっても暴力があってはいけないため、このことについて計画に含めることはできない。

- ・女性の体に対しての知識を小さい頃から理解していると、暴力なども減っていくと思うので、性教育をしっかりやっていただきたい。

⇒施策の方針 6 「生涯を通じた心身の健康づくり」を進めるうえでの参考とさせていただきたい。

【協議結果】

案の内容で了承する。

(2) 答申案について

【事務局からの説明】

- ・今までにいただいたご意見をもとに作成した答申案について説明。
- ・計画については、改定案のとおり了承いただけたため、諮問に対する答申として、改定のポイント3つについてどのような点に配慮して施策を進めることを要望するかの意見をいただきたい。

(改定ポイント) ①越谷市困難女性支援基本計画について

②性的少数者への理解促進に向けた取組みについて

③あらゆる暴力の根絶について

【意見】

- ・教育の面で、特に家庭任せになってしまっている支援学級、支援学校への性教育を強化していただきたい。

⇒予防教育の充実というところで、全ての学校、学級が対象となるため、意見として賜り、教育委員会とも協力していきたいと思う。

【協議結果】

案の内容で了承する。

<報告事項>

(1) 第4次越谷市男女共同参画計画後期実施計画（素案）について

【事務局からの説明】

- ・実施計画全体としての前期実施計画との変更点、事業ごとで変更した部分、新規掲載や掲載終了としたものについて説明を行う。

【質疑応答】

- ・事業番号30の事業目的が「女性従事者に労働環境の維持」となっているが、改善とはならないか。

⇒修正について所管課（農業振興課）に確認する。

・事業番号 59 の事業目的に「女性消防団員が運営の補助に当たり、避難者へのきめ細やかな対応」とあるが、女性だからきめ細やかな対応を求められると捉えられてしまうため、「ニーズに沿った」などに変更できないか。

⇒修正について所管課（警防課）に確認する。

・事業番号 20 のキャリア教育について、事業目的である役割分担に囚われないようにするために、内容をもっと工夫できないものか。

⇒教育委員会へご意見としてお伝えさせていただく。

・事業番号 16 の「保護者に向けた啓発資料の配布」について、こういった内容は教育として意味のあるものだと思うので、今後は、懇談会や授業参観で子どもと一緒に聞いてもらう講座を学校と協力してやっていくとか、ワークショップをやるとか、ほっと越谷の登録団体にもスキルをお持ちの方がいらっしゃいますので、そういう民間との連携も視野に入れ、よりよい施策を検討いただきたい。

⇒配布だけでは弱いというのは認識しており、学校への出前講座なども考えているが、授業数がタイトで難しいところがある。PTA連合会には毎年、出前講座の紹介をさせていただいてはいるが、実現には結びついていない。
今後も働きかけを継続し、本意見については、教育委員会へご意見としてお伝えさせていただく。

・事業番号 24 にも繋がるが、学校との連携には、学校としての意識の醸成が必要で、それには女性のリーダーを増やす必要があると思う。

⇒人事課が所管課となり、特定事業主行動計画でも同様に女性管理職員の割合を目標値として掲げており、次期計画策定中のため「別途調整」と表記されているが、推進していくべきことと認識している。学校の先生に関しては、県の職員であるが、県でも同様に推進を図っている。当市の職員へのキャリア教育として、女性職員に対し外部の講師を呼んでのキャリアに関する講座を受けた後、女性管理職と座談会形式で話し合う場を設けている。

- ・事業番号 88 のDV相談の事業目的について、「DV被害者を精神的に支援する」とあるが、現場からの意見でいうと、精神的支援もちろんするが、それが目的ではなく、様々な情報提供をし、どのように生活していくかを共に考えていくことが主な目的だと思っている。また、事業番号 76, 77 の事業目的で「心身ともに健康に過ごせるよう」とあるが、それはもちろんのこと、女性相談も男性相談もジェンダーの視点に基づいて相談対応しているため、そのような表現にした方がいいと思われる。

⇒ご意見のとおり検討し、内容を修正させていただきたい。

- ・事業番号 72～74 のがん検診の受診率について、実績、目標値含みなぜこんなに数値が低いのか。

⇒全国的にも同様の傾向があり、受診控えが中々解消されないというところと、検診を受けてくれる病院が減ってしまっており、増加させることが非常に困難な状況にあると所管課から聴取している。

4 その他

5 閉会